

防災座談会 in 小川原湖

七戸川→

昭和33年9月 小川原湖 大洪水から半世紀

花切川→

高瀬川流域では、昭和33年9月26日の台風22号により、東北町旭栄沼地区など小川原湖と流入河川の低平地が浸水し、床上床下浸水2,801戸、死傷者20名の水害に襲われました。

平成20年はその洪水発生から50年ですが、これまでに高瀬川放水路や湖岸堤の建設、流入河川の改修や排水機場が整備され、過去の大災害の記憶も風化しつつあります。

そのため、過去の水災を再認識し、防災について考えるための座談会を開催します。

日時：平成20年10月4日（土）
午後2：30～4：00

場所：東北町民文化センター 2階会議室

スケジュール

- 主催者挨拶 14：30～14：35
- 講演 14：35～15：05
「昭和33年洪水の概要と近年の出水」
高瀬川河川事務所長
- 座談会 15：05～16：00
「昭和33年洪水の記憶を風化させないために」
佐々木幹夫 八戸工業大学教授
蛭名寛治 東北町在住
竹内亮一 東北町長
遠藤真一 高瀬川河川事務所長
- 終わりの挨拶 東北町長
(高瀬川流域改修促進期成同盟会会長)

主催：高瀬川河川事務所
共催：高瀬川流域改修促進期成同盟会
(社)東北建設協会

入場無料

